

# 令和2年度 “ふじのくに”<sup>しみん</sup>士民協働 施策レビュー 改善提案とりまとめシート

## 1 基本情報

政策	政策3 子どもが健やかに学び育つ社会の形成		
政策の柱	3-2 すべての子どもが大切にされる社会づくり		
議論した施策	(1) 社会的養護が必要な子どもへの支援の充実		
実施日/班名	10月31日(土) 第2班	担当部局名	健康福祉部 こども家庭課

## 2 コーディネーター取りまとめコメント（コーディネーターが議論を総括して取りまとめ）

虐待については、原因分析を多面的・多角的に進め、関係機関と情報共有することによって具体的な対策につなげる必要がある。若年層への教育、啓発にも努めるとともに、女性の雇用の充実など、社会的価値観の変化に対応し、男性の子育てへの積極的な参画や企業の協力も進め、相談体制を整えるなど母親（女性）だけでなく「社会全体で子育てをする」とした意識を醸成することが求められる。

また、里親制度の周知を図るとともに、里親と児童の関係が良好であるようフォローする事が重要である。児童養護施設入所児童については、18歳以降のフォローアップにも配慮する必要がある。

## 3 施策改善案（県民評価者が記載した改善提案シートの取りまとめ）

- 虐待の発生原因について、多面的・複合的な分析を進め、具体的な取組に繋げる必要がある。
- 男性の子育てへの主体的な参画や企業の育休取得等への理解促進など、子どもの健やかな成長を支える環境を整えるとともに、社会全体で子供を見守り・育てる気運を醸成する必要がある。
- 市町や学校等との連携を進め、虐待の早期発見や加害者側（虐待をした親など）のケアなど、虐待への対応を更に強化する必要がある。
- 里親制度の一層の理解に向けた積極的な広報を行うとともに、ショートステイのように短期間だけ里親に預けられる制度や、養育中の里親へのフォローなど里親制度の充実などを図る必要がある。
- 施設等で暮らす子どもたちが、安心して過ごす環境を提供するに留まらず、進学や就職した以降も自立した生活を維持できるよう継続的な支援を充実させる必要がある。